

研究課題番号	3-2301
研究課題名	プラスチック循環の推進と調和する化学物質管理に向けた樹脂添加剤の循環実態の解明
研究実施期間	令和5年度～令和7年度
研究機関名	国立環境研究所
研究代表者名	梶原 夏子

1. 評価結果

評価ランク：S

2. 委員の指摘及び提言概要

網羅的かつ体系的な優れた研究構成がなされており、現時点において POPs 系樹脂添加剤の含有実態およびその特徴を把握したこと、ノンターゲット分析で非意図的に混入している物質を網羅的に探索できたこと、物質と製品用途が紐づいたデータベースを作成したこと、製品ごとのフロータイプの整理ができたことなどは計画通りあるいは計画以上の成果を挙げていると高く評価する。再生ペレット試料分析の蓄積、絞り込まれた添加剤の定量化、データベースの充実と循環・再資源化フローの類型化など、予定している研究が着実な成果を上げることを期待する。添加剤の環境動態解明は今後のプラスチック汚染対策に重要な役割を果たすものであり、本研究の成果に大いに期待したい。